

司研企一第148号

(人ろ-08)

平成26年3月17日

高等裁判所長官 殿

司法研修所長 山 名 学

平成26年度判事補基礎研究会の実施について（通知）

標記の研究会を下記のとおり実施しますから、貴庁管内の対象者を参加させてください。

なお、参加対象者を4月3日（木）までに報告してください。

記

1 研究期間

6月2日（月）から同月6日（金）までの5日間

2 研究場所

司法研修所

3 対象者

(1) 平成23年 [] 同年9月に裁判官に任命された判事補（[]
[] 期）及び [] 平成24年1月に裁判官に任命
された判事補（[] 期）

(2) 平成24年度及び平成25年度判事補基礎研究会に参加しなかった []
[] 期、 [] 期、 [] 期及び [] 期の判事補のうち、参加を希望
するもの

4 研究内容

裁判実務の在り方の研究及び裁判官としての自己研さんの契機となる基礎的知

識の修得等

5 宿舎

宿舎を必要とする参加者については、当研修所の宿舎を用意する。

平成26年3月24日

平成26年度判事補基礎研究会実施要領

(1日目)

1 講演「民事裁判について」(仮題)

東京高裁の大竹たかし判事を講師に迎え、民事裁判の在り方などについて講演していただく。

2 説明「民事裁判の現状と課題」

民事裁判の現状と課題について、民事局第一課長から説明を受ける。

3 問題研究(班別)「民事執行事件の処理」

3班に分かれ、それぞれ東京地裁又は大阪地裁の裁判官を講師に迎え、民事執行事件の処理に関する設例に基づき、民事執行に関する基本問題について、共同研究を行うとともに、講師から説明を受ける予定である。

(2日目)

4 講演「刑事裁判について」(仮題)

東京高裁の村瀬均判事を講師に迎え、刑事裁判の在り方などについて講演していただく。

5 説明「刑事裁判の現状と課題」

刑事裁判の現状と課題について、刑事局第一課長から説明を受ける。

6 説明「裁判所書記官との協働」(仮題)

裁判官と書記官との協働の在り方などについて、総務局参事官から説明を受ける。

7 問題研究(班別)「令状事件の処理」

3班に分かれ、それぞれ東京地裁又は大阪地裁の裁判官を講師に迎え、下記研究事項について、共同討議を行うとともに、講師から説明を受ける予定である。

[研究事項]

- ① 逮捕に関する問題
- ② 勾留に関する問題
- ③ 接見禁止に関する問題
- ④ 保釈、勾留執行停止に関する問題
- ⑤ 搜索差押等（鑑定処分、検証等を含む。）に関する問題
- ⑥ 準抗告に関する問題
- ⑦ その他

（3日目）

8 問題研究（班別）「民事保全事件の処理」

3班に分かれ、それぞれ東京地裁又は大阪地裁の裁判官を講師に迎え、民事保全事件の処理に関する設例に基づき、民事保全に関する基本問題について、共同研究を行うとともに、講師から説明を受ける予定である。

9 共同研究（班別）「判例について」

5班に分かれ、それぞれ地裁部総括裁判官を講師に迎え、判例の役割・機能、判例の拘束力の意義、限界などについて、以下の研究項目を中心に共同討議を行う。

〔研究項目〕

- ① どの部分を判例と考えるか。
- ② 判例の拘束力の及ぶ範囲をどこまでと考えるか。
- ③ 判例の拘束力の根拠をどのように考えるか。
- ④ 判例（主論）と傍論とを区別できるか。傍論とは何か。

（4日目）

10 講演「リーダーシップについて」（仮題）

株式会社 [] 代表取締役、NPO法人 []
副理事長の [] 氏を講師に迎え、リーダーシップをテーマとする講演をして
いただく予定である。

11 講演及びワークショップ「批判的思考について」（仮題）

大学大学院教授の 氏を講師に迎え、批判的思考（クリティカル・シンキング）に関し、講演とワークショップを行う。

（5日目）

12 講演「法とバリアフリー」（仮題）

大学 教授である 氏を講師に迎え、現代社会に生きる障害者の方が社会生活上のバリアと感じていることなどについて講演していただく予定である。

13 レポート作成

本研究会を振り返り、新たに発見したこと、裁判官として今後の仕事をしていく上で考えたことなどについて、レポートを作成する。

14 意見交換（班別）「これから目指すもの」（仮題）

司法研修所教官を司会とし、各自の任官後の約2年半の経験を踏まえ、今後の成長目標などにつき、班別の意見交換をする。

参 加 者 名 簿

高裁管内	本 務 庁	氏 名	備 考
東京	東京高裁 東京地裁	黒 栗 井 小 川 日 比 齊 佐 下 手 中 馬 原 山 横 守 小 清 高 日 藤 邊 浅 齊 田 野 竹 瓜 小 日 高 原 君 倉 橋	主 大 結 安 祥 恭 隆 良 隆 玲 義 彰 明 友 麻 真 由 倬 真 祐 育 貴 千 蔵 知 一 優 晶 美 直 卓 英
	東京地裁立川支 横浜地裁	澤 津 町 川 原 部 上 藤 木 道 塚 村 場 田 田 屋 林 水 市 高 枝 見 江 藤 井 内 生 川 部 木 島 鋪 詰	子 侑 慧 加 子 史 平 広 耕 太 成 子 博 一 香 宏 依 美 香 史 悟 人 子 光 春 人 佳 容 希 香 大 湖 之 徳 輔
	さいたま地裁		
	さいたま家裁熊谷支 千葉地裁		
	水戸地裁		

高裁管内	本 務 庁	氏 名	備 考
東京	宇都宮地裁	佐々木	江貴介
	前橋地裁	桑毛	未彦郎
	前橋地裁高崎支	高河	郎寛美司
	静岡地裁	大島	純一
	甲府地裁	大柴	輔穂浩央
	長野地裁	山秋	人諭輝美
大阪	新潟地裁	大柴	香稔宏
	大阪高裁	山秋	恵介
	大阪地裁	伊楠	輔リ
		栗近	紀久子
		多西	子介
		松望	一藍尋
		横工	
	大阪家裁	畦合	
	京都地裁	島結	
	神戸地裁	生倉	
名古屋		今塚	
	神戸家裁	田楠	
	大津地裁	森山	
	和歌山地裁	川古	
	名古屋高裁		
	名古屋地裁		

高裁管内	本 務 庁	氏 名	備 考
名古屋	名古屋地裁	坂前三武荒林坂堀野林豊桐岩太大三稻濱荻大木金金亀本西古吉佐山宍檀人高村	清士郎 優裕明雅敦唯 真由莉 眞由慎 康慎 繪雄恭文良恆有宏佑 勇裕尚智 信和憲美樹
広島	津地裁 岐阜地裁 福井家裁 金沢地裁 広島地裁 山口地裁 岡山地裁 鳥取家裁 福岡地裁	本 田 木 藤 木 井 内 田 崎 岡 谷 田 田 野 好 垣 岡 野 下 口 友 友 井 多 屋 田 野 下 戸 上 見 橋 井	郎 太 之 子 俊 子 弥 隼 未 子 也 康 平 吾 崇 美 大 平 則 仁 成 子 平 樹 進 功 児 亮 也 史 崇 介 幸 太 子
福岡	佐賀地裁 長崎地裁 長崎地裁佐世保支 大分家裁 熊本地裁 鹿児島地裁 宮崎地裁 福島地裁 山形地裁 盛岡地裁 秋田地裁 青森地裁 札幌地裁	戸 金 金 亀 本 西 古 吉 佐 山 宍 檀 人 高 村	
仙台	函館地裁 旭川地裁 高松地裁 高知地裁 松山地裁		
札幌			
高松			

合計 105 人

司研企一第201号

(人ろー08)

平成26年4月14日

高等裁判所長官 殿

司法研修所長 山 名 学

平成26年度判事補基礎研究会の参加者について（通知）

標記の研究会の参加者は、別添の参加者名簿記載のとおり決定しました。

参 加 者 名 簿

高裁管内	本 務 庁	氏 名	備 考
東京	東京高裁 東京地裁	黒 澤 圭 子 栗 津 大 結 子 井 町 川 紀 史 小 川 原 部 平 川 日 下 上 広 日 此 藤 隆 耕 齊 佐 々 木 太 佐 下 道 成 下 手 塚 子 中 馬 村 博 原 山 田 一 横 守 田 香 小 屋 友 宏 清 林 真 依 高 水 由 美 日 市 由 香 藤 高 市 史 邊 枝 梧 浅 見 人 齊 江 子 田 野 藤 光 野 井 春 竹 内 佳 瓜 生 容 小 川 希 日 下 部 香 高 木 大 原 島 湖 君 鋪 之 倉 詰 徳 橋 英 輔	
	東京地裁立川支 横浜地裁		
	さいたま地裁		
	さいたま家裁熊谷支 千葉地裁		
	水戸地裁		

高裁管内	本 務 庁	氏 名	備 考
東京	宇都宮地裁	佐々木	江貴介
	前橋地裁	桑毛	淑眞
	前橋地裁高崎支	高河	裕祐
	静岡地裁	大河	文健
	甲府地裁	大島	一 郎
	長野地裁	大島	一 郎
	新潟地裁	大柴	朋裕
大阪	大阪高裁 大阪地裁	畑田	兼美
		田田	司純
	大阪家裁 京都地裁	秋伊	太一
		楠栗	大 輔
		近多	美 穂
		西松	貴 浩
		望横	真 央
	神戸地裁	工畦	瑞 人
		合島	一 諭
		結生	裕 輝
	神戸家裁尼崎支 大津地裁	倉今	日 香
		塚田	明 稔
名古屋	和歌山地裁 名古屋高裁 名古屋地裁	城田	英 宏
		方野	顯 恵
		本原	理 介
		楠森	大 輔
		山川	ユ 紀
		古	智 久
			晴 子
			綾 子
			真 介
			優 一
			健 藍
			千 尋

高裁管内	本 務 庁	氏 名	備 考
名古屋	名古屋地裁	坂前三武	本 田 木 藤 木
	津地裁	荒 林	清 優 裕 明 雅 敦
	岐阜地裁	坂 堀	井 内 田 崎
	福井家裁	堀 野	真 由 莉
広島	金沢地裁	林 豊	岡 谷 田 野
	広島地裁	桐 岩	太 大 三 稻 濱
	山口地裁	太 大 三 稻 濱	荻 大 木 金 金 亀 本 西 古 吉 佐 山 穴 檀 人 高 村
	岡山地裁	豊 桐 岩	太 大 三 稻 濱
福岡	鳥取家裁	太 大 三 稻 濱	荻 大 木 金 金 亀 本 西 古 吉 佐 山 穴 檀 人 高 村
	福岡地裁	太 大 三 稻 濱	荻 大 木 金 金 亀 本 西 古 吉 佐 山 穴 檀 人 高 村
	佐賀地裁	太 大 三 稻 濱	荻 大 木 金 金 亀 本 西 古 吉 佐 山 穴 檀 人 高 村
	長崎地裁	太 大 三 稻 濱	荻 大 木 金 金 亀 本 西 古 吉 佐 山 穴 檀 人 高 村
	長崎地裁佐世保支	太 大 三 稻 濱	荻 大 木 金 金 亀 本 西 古 吉 佐 山 穴 檀 人 高 村
	大分家裁	太 大 三 稻 濱	荻 大 木 金 金 亀 本 西 古 吉 佐 山 穴 檀 人 高 村
	熊本地裁	太 大 三 稻 濱	荻 大 木 金 金 亀 本 西 古 吉 佐 山 穴 檀 人 高 村
	鹿児島地裁	太 大 三 稻 濱	荻 大 木 金 金 亀 本 西 古 吉 佐 山 穴 檀 人 高 村
仙台	宮崎地裁	太 大 三 稻 濱	荻 大 木 金 金 亀 本 西 古 吉 佐 山 穴 檀 人 高 村
	福島地裁	太 大 三 稻 濱	荻 大 木 金 金 亀 本 西 古 吉 佐 山 穴 檀 人 高 村
	山形地裁	太 大 三 稻 濱	荻 大 木 金 金 亀 本 西 古 吉 佐 山 穴 檀 人 高 村
	盛岡地裁	太 大 三 稻 濱	荻 大 木 金 金 亀 本 西 古 吉 佐 山 穴 檀 人 高 村
	秋田地裁	太 大 三 稻 濱	荻 大 木 金 金 亀 本 西 古 吉 佐 山 穴 檀 人 高 村
	青森地裁	太 大 三 稻 濱	荻 大 木 金 金 亀 本 西 古 吉 佐 山 穴 檀 人 高 村
札幌	札幌地裁	太 大 三 稻 濱	荻 大 木 金 金 亀 本 西 古 吉 佐 山 穴 檀 人 高 村
	函館地裁	太 大 三 稻 濱	荻 大 木 金 金 亀 本 西 古 吉 佐 山 穴 檀 人 高 村
	旭川地裁	太 大 三 稻 濱	荻 大 木 金 金 亀 本 西 古 吉 佐 山 穴 檀 人 高 村
高松	高松地裁	太 大 三 稻 濱	荻 大 木 金 金 亀 本 西 古 吉 佐 山 穴 檀 人 高 村
	高知地裁	太 大 三 稻 濱	荻 大 木 金 金 亀 本 西 古 吉 佐 山 穴 檀 人 高 村
	松山地裁	太 大 三 稻 濱	荻 大 木 金 金 亀 本 西 古 吉 佐 山 穴 檀 人 高 村

司研企一第203号

(人ろ-08)

平成26年4月14日

東京高等裁判所長官 殿

司法研修所長 山 名 学

平成26年度判事補基礎研究会の任意参加について（通知）

下記のとおり実施する標記の研究会について，東京高等裁判所判事黒澤圭子から参加希望の申出がありましたので，参加させてください。

なお，参加者に対する旅行命令及び旅費支給の手続は，当研修所が行います。

記

- 1 日程 別添の日程表（案）のとおり
- 2 場所 司法研修所

日 程 表 (案)

月	日	曜	実 施 内 容							
6	2	月	9:50 所長 あいさつ	10:00 講演 「民事裁判について」 (仮題) 東京高裁判事 大 竹 たかし	11:30 説明 「民事裁判の 現状と課題」 民事局第一課長	12:20 13:00 説明 「民事裁判の 現状と課題」 民事局第一課長	13:20 問題研究 (班別) 「民事執行事件の処理」 1 班 東京地裁判事 鷹 野 旭 2 班 東京地裁判事 及 川 勝 広 3 班 大阪地裁判事補 梅 本 聡 子	17:15 ※		
	3	火	10:00 講演 「刑事裁判について」 (仮題) 東京高裁判事 村 瀬 均	11:30 説明 「刑事裁判の 現状と課題」 刑事局第一課長	12:20 13:00 説明 「裁判所書記 官との協働」 (仮題) 総務局参事官	13:00 13:40 説明 「裁判所書記 官との協働」 (仮題) 総務局参事官	14:00 問題研究 (班別) 「令状事件の処理」 1 班 東京地裁判事 安 藤 範 樹 2 班 東京地裁判事 内 藤 恵美子 3 班 大阪地裁判事 本 村 暁 宏	17:00		
	4	水	10:00 問題研究 (班別) 「民事保全事件の処理」 1 班 東京地裁判事 関 述 之 2 班 東京地裁判事補 野 村 昌 也 3 班 大阪地裁判事補 関 川 亮 介					14:30 共同研究 (班別) 「判例について」 A 班 東京地裁判事 増 田 稔 B 班 東京地裁判事 本 多 知 成 C 班 東京地裁判事 谷 口 豊 D 班 東京地裁判事 平 木 正 洋 E 班 東京地裁判事 稗 田 雅 洋	14:50 共同研究 (班別) 「判例について」 A 班 東京地裁判事 増 田 稔 B 班 東京地裁判事 本 多 知 成 C 班 東京地裁判事 谷 口 豊 D 班 東京地裁判事 平 木 正 洋 E 班 東京地裁判事 稗 田 雅 洋	17:00
	5	木	10:00 講演 「対人関係の科学」 株式会社 [] 代表取締役社長 []			12:00 講演及びワークショップ 「批判的思考について」 [] 大学大学院教授 []			13:00 講演及びワークショップ 「批判的思考について」 [] 大学大学院教授 []	17:00
	6	金	10:00 講演 「法とバリアフリー」 (仮題) [] 大学 [] 教授 []		11:30 レポート 作成	11:40 12:10 意見交換 (班別) 「これから目指すもの」 (仮題) a 班 b 班 c 班 d 班 e 班 f 班			13:10 意見交換 (班別) 「これから目指すもの」 (仮題) a 班 b 班 c 班 d 班 e 班 f 班	16:00

※ 懇談会を予定

司研企一第204号

(人ろ-08)

平成26年4月14日

大阪高等裁判所長官 殿

司法研修所長 山 名 学

平成26年度判事補基礎研究会の任意参加について（通知）

下記1のとおり実施する標記の研究会のうち2のカリキュラムについて、大阪高等裁判所判事山田兼司から参加希望の申出がありましたから、参加させてください。

なお、参加者に対する旅行命令及び旅費支給の手続は、当研修所が行います。

記

1 日程等

(1) 日程 別添の日程表（案）のとおり

(2) 場所 司法研修所

2 参加するカリキュラム

月	日	曜	時 間	内 容
6	2	月	10:00～11:30	講演「民事裁判について」（仮題）
			12:20～13:00	説明「民事裁判の現状と課題」
			13:20～17:15	問題研究（班別）「民事執行事件の処理」
6	3	火	10:00～11:30	講演「刑事裁判について」（仮題）
			12:20～13:00	説明「刑事裁判の現状と課題」
			13:00～13:40	説明「裁判所書記官との協働」（仮題）
			14:00～17:00	問題研究（班別）「令状事件の処理」

月	日	曜	時 間	内 容
6	4	水	10:00～14:30	問題研究（班別）「民事保全事件の処理」

日 程 表 (案)

月	日	曜	実 施 内 容						
6	2	月	9:50 所長 あいさつ	10:00 講演 「民事裁判について」 (仮題) 東京高裁判事 大 竹 たかし	11:30 説明 「民事裁判の 現状と課題」 民事局第一課長	12:20 13:00 説明 「民事裁判の 現状と課題」 民事局第一課長	13:20 問題研究（班別） 「民事執行事件の処理」 1 班 東京地裁判事 鷹 野 旭 2 班 東京地裁判事 及 川 勝 広 3 班 大阪地裁判事補 梅 本 聡 子	17:15 ※	
	3	火	10:00 講演 「刑事裁判について」 (仮題) 東京高裁判事 村 瀬 均	11:30 説明 「刑事裁判の 現状と課題」 刑事局第一課長	12:20 13:00 説明 「裁判所書記 官との協働」 (仮題) 総務局参事官	13:00 13:40 説明 「裁判所書記 官との協働」 (仮題) 総務局参事官	14:00 問題研究（班別） 「令状事件の処理」 1 班 東京地裁判事 安 藤 範 樹 2 班 東京地裁判事 内 藤 恵美子 3 班 大阪地裁判事 本 村 暁 宏	17:00	
	4	水	10:00 問題研究（班別） 「民事保全事件の処理」 1 班 東京地裁判事 関 述 之 2 班 東京地裁判事補 野 村 昌 也 3 班 大阪地裁判事補 関 川 亮 介	14:30 共同研究（班別） 「判例について」 A 班 東京地裁判事 増 田 稔 B 班 東京地裁判事 本 多 知 成 C 班 東京地裁判事 谷 口 豊 D 班 東京地裁判事 平 木 正 洋 E 班 東京地裁判事 稗 田 雅 洋		14:50 共同研究（班別） 「判例について」 A 班 東京地裁判事 増 田 稔 B 班 東京地裁判事 本 多 知 成 C 班 東京地裁判事 谷 口 豊 D 班 東京地裁判事 平 木 正 洋 E 班 東京地裁判事 稗 田 雅 洋			17:00
	5	木	10:00 講演 「対人関係の科学」 株式会社 [] 代表取締役社長 []	12:00 講演及びワークショップ 「批判的思考について」 [] 大学大学院教授 []		13:00 講演及びワークショップ 「批判的思考について」 [] 大学大学院教授 []			17:00
	6	金	10:00 講演 「法とバリアフリー」 (仮題) [] 大学 [] 教授 []	11:30 レポート 作成	11:40 12:10 意見交換（班別） 「これから目指すもの」 (仮題) a 班 b 班 c 班 d 班 e 班 f 班	13:10 意見交換（班別） 「これから目指すもの」 (仮題) a 班 b 班 c 班 d 班 e 班 f 班			16:00

※ 懇談会を予定

司研企一第205号

(人ろー08)

平成26年4月14日

名古屋高等裁判所長官 殿

司法研修所長 山 名 学

平成26年度判事補基礎研究会の任意参加について（通知）

下記1のとおり実施する標記の研究会のうち2のカリキュラムについて、名古屋高等裁判所判事山本健一から参加希望の申出がありましたから、参加させていただきます。

なお、参加者に対する旅行命令及び旅費支給の手続は、当研修所が行います。

記

1 日程等

(1) 日程 別添の日程表（案）のとおり

(2) 場所 司法研修所

2 参加するカリキュラム

月	日	曜	時 間	内 容
6	2	月	10:00～11:30	講演「民事裁判について」（仮題）
			12:20～13:00	説明「民事裁判の現状と課題」
			13:20～17:15	問題研究(班別)「民事執行事件の処理」
6	3	火	10:00～11:30	講演「刑事裁判について」（仮題）
			12:20～13:00	説明「刑事裁判の現状と課題」
			13:00～13:40	説明「裁判所書記官との協働」（仮題）

月	日	曜	時 間	内 容
6	3	火	14:00～17:00	問題研究（班別）「令状事件の処理」
6	4	水	10:00～14:30	問題研究（班別）「民事保全事件の処理」
			14:50～17:00	共同研究（班別）「判例について」

日 程 表 (案)

月	日	曜	実 施 内 容					
6	2	月	9:50 所長あいさつ	10:00 講演 「民事裁判について」 (仮題) 東京高裁判事 大 竹 たかし	11:30 説明 「民事裁判の 現状と課題」 民事局第一課長	12:20 13:00 説明 「民事裁判の 現状と課題」 民事局第一課長	13:20 問題研究 (班別) 「民事執行事件の処理」 1 班 東京地裁判事 鷹 野 旭 2 班 東京地裁判事 及 川 勝 広子 3 班 大阪地裁判事補 梅 本 聡	17:15 ※
	3	火	10:00 講演 「刑事裁判について」 (仮題) 東京高裁判事 村 瀬 均	11:30 説明 「刑事裁判の 現状と課題」 刑事局第一課長	12:20 13:00 説明 「裁判所書記 官との協働」 (仮題) 総務局参事官	13:00 13:40 説明 「裁判所書記 官との協働」 (仮題) 総務局参事官	14:00 問題研究 (班別) 「令状事件の処理」 1 班 東京地裁判事 安 藤 範 樹 2 班 東京地裁判事 内 藤 恵美子 3 班 大阪地裁判事 本 村 暁 宏	17:00
	4	水	10:00 問題研究 (班別) 「民事保全事件の処理」 1 班 東京地裁判事 関 述 之 2 班 東京地裁判事補 野 村 昌 也 3 班 大阪地裁判事補 関 川 亮 介	14:30 共同研究 (班別) 「判例について」 A 班 東京地裁判事 増 田 稔 B 班 東京地裁判事 本 多 知 成 C 班 東京地裁判事 谷 口 豊 D 班 東京地裁判事 平 木 正 洋 E 班 東京地裁判事 稗 田 雅 洋			14:50 共同研究 (班別) 「判例について」 A 班 東京地裁判事 増 田 稔 B 班 東京地裁判事 本 多 知 成 C 班 東京地裁判事 谷 口 豊 D 班 東京地裁判事 平 木 正 洋 E 班 東京地裁判事 稗 田 雅 洋	17:00
	5	木	10:00 講演 「対人関係の科学」 株式会社[]代表取締役社長 []	12:00 講演及びワークショップ 「批判的思考について」 []大学大学院教授 []			13:00 講演及びワークショップ 「批判的思考について」 []大学大学院教授 []	17:00
	6	金	10:00 講演 「法とバリアフリー」 (仮題) []大学 []教授 []	11:30 レポート 作成	11:40 12:10 意見交換 (班別) 「これから目指すもの」 (仮題) a 班 b 班 c 班 d 班 e 班 f 班	13:10 意見交換 (班別) 「これから目指すもの」 (仮題) a 班 b 班 c 班 d 班 e 班 f 班		

※ 懇談会を予定

平成26年4月21日

平成26年度判事補基礎研究会参加者 殿

司法研修所事務局長 吉 崎 佳 弥

平成26年度判事補基礎研究会について（事務連絡）

標記の研究会について、下記のとおりお知らせします。

記

1 日程

日程表（案）のとおり

2 場所、宿舎等

(1) 場所

司法研修所別館

埼玉県和光市南二丁目3番5号

(2) 集合

6月2日（月）午前9時40分 当研修所別館 研修棟3階受付

(3) 宿舎

宿舎を必要とする参加者については、当研修所別館の宿泊棟（なごみ寮）を用意する。

3 参加者

参加者名簿のとおり

4 旅費

参加に要する旅費は、研究会期間中に当研修所において支給する。

添付書類

1 日程表 (案)

2 参加者名簿

日 程 表 (案)

月	日	曜	実 施 内 容					
6	2	月	9:50 所長 あいさつ	10:00 講演 「民事裁判について」 (仮題) 東京高裁部総括判事 大 竹 たかし	11:30 説明 「民事裁判の 現状と課題」 民事局第一課長	12:20 13:00 説明 「民事裁判の 現状と課題」 民事局第一課長	13:20 問題研究 (班別) 「民事執行事件の処理」 1 班 東京地裁判事 鷹 野 旭 2 班 東京地裁判事 及 川 勝 広 3 班 大阪地裁判事補 梅 本 聡 子	17:15 ※
	3	火	10:00 講演 「刑事裁判について」 (仮題) 東京高裁部総括判事 村 瀬 均	11:30 説明 「刑事裁判の 現状と課題」 刑事局第一課長	12:20 13:00 説明 「裁判所書記 官との協働」 (仮題) 総務局参事官	13:00 13:40 説明 「裁判所書記 官との協働」 (仮題) 総務局参事官	14:00 問題研究 (班別) 「令状事件の処理」 1 班 東京地裁判事 安 藤 範 樹 2 班 東京地裁判事 内 藤 恵美子 3 班 大阪地裁判事 本 村 暁 宏	17:00
	4	水	10:00 問題研究 (班別) 「民事保全事件の処理」 1 班 東京地裁判事 関 述 之 2 班 東京地裁判事補 野 村 昌 也 3 班 大阪地裁判事補 関 川 亮 介	14:30 共同研究 (班別) 「判例について」 A 班 東京地裁部総括判事 増 田 稔 B 班 東京地裁部総括判事 本 多 知 成 C 班 東京地裁部総括判事 谷 口 豊 D 班 東京地裁部総括判事 平 木 正 洋 E 班 東京地裁部総括判事 稗 田 雅 洋			14:50 共同研究 (班別) 「判例について」 A 班 東京地裁部総括判事 増 田 稔 B 班 東京地裁部総括判事 本 多 知 成 C 班 東京地裁部総括判事 谷 口 豊 D 班 東京地裁部総括判事 平 木 正 洋 E 班 東京地裁部総括判事 稗 田 雅 洋	17:00
	5	木	10:00 講演 「対人関係の科学」 株式会社 [] 代表取締役社長 []	12:00 講演及びワークショップ 「批判的思考について」 [] 大学大学院教授 []			13:00 講演及びワークショップ 「批判的思考について」 [] 大学大学院教授 []	17:00
	6	金	10:00 講演 「法とバリアフリー」 (仮題) [] 大学 [] 教授 []	11:30 レポート 作成	11:40 12:10 意見交換 (班別) 「これから目指すもの」 (仮題) a 班 b 班 c 班 d 班 e 班 f 班	13:10 意見交換 (班別) 「これから目指すもの」 (仮題) a 班 b 班 c 班 d 班 e 班 f 班		

※ 懇談会を予定

参 加 者 名 簿

高裁管内	本 務 庁	氏 名	備 考
東京	東京高裁 東京地裁	黒 栗 井 小 川 日 此 齊 佐 下 手 中 馬 原 山 横 守 小 清 高 日 藤 邊 浅 齊 田 野 竹 瓜 小 日 高 原 君 倉 橋	子 侑 慧 加 子 史 平 広 耕 太 成 子 博 一 香 宏 依 美 香 史 悟 人 子 光 春 人 佳 容 希 香 大 湖 之 徳 輔
	東京地裁立川支 横浜地裁	澤 津 町 川 原 部 上 藤 木 道 塚 村 場 田 田 屋 林 水 市 高 枝 見 江 藤 井 内 生 川 部 木 島 鋪 詰	
	さいたま地裁		
	さいたま家裁熊谷支 千葉地裁		
	水戸地裁		

高裁管内	本 務 庁	氏 名	備 考
東京	宇都宮地裁	佐 木	江 貴 介
	前橋地裁	桑 原	未 彦 郎
	前橋地裁高崎支	毛 高	郎 寛 美
	静岡地裁	河 大	司 純 一
	甲府地裁	島 大	輔 穂 浩
	長野地裁	大 柴	央 人 諭
	新潟地裁	山 秋	輝 美 香
大阪	大阪高裁	伊 楠	稔 宏 恵
	大阪地裁	栗 近	介 輔
		多 西	リ 紀 久
		松 望	子 子 介
		横 工	一 藍 尋
	大阪家裁	畦 合	
	京都地裁	島 結	
		生 倉	
	神戸地裁	今 塚	
		田 楠	
名古屋	神戸家裁尼崎支	森 山	
	大津地裁	川 古	
	和歌山地裁		
	名古屋高裁		
	名古屋地裁		

高裁管内	本 務 庁	氏 名	備 考
名古屋	名古屋地裁	坂前三武荒林坂堀野林豊桐岩太大三稻濱荻大木戸豆金亀本西古吉佐山矢檀人高村	清士郎 優裕明雅敦唯 真由莉 慎 康慎 繪雄恭文良恆有宏佑 勇裕尚智 信和憲美樹
	津地裁		
	岐阜地裁		
	福井家裁		
	金沢地裁		
広島	広島地裁		
	山口地裁		
	岡山地裁		
	鳥取家裁		
福岡	福岡地裁		
	佐賀地裁		
	長崎地裁		
	長崎地裁佐世保支		
	大分家裁		
	熊本地裁		
	鹿児島地裁		
	宮崎地裁		
仙台	福島地裁		
	山形地裁		
	盛岡地裁		
	秋田地裁		
	青森地裁		
札幌	札幌地裁		
	函館地裁		
	旭川地裁		
高松	高松地裁		
	高知地裁		
	松山地裁		

合計 105 人

日 程 表

月	日	曜	実 施 内 容											
6	2	月	9:50 所長あいさつ	10:00 講演 「民事裁判について」 東京高裁部総括判事 大竹 たかし	11:30	12:20 説明 「民事裁判の 現状と課題」 民事局第一課長 福田千恵子	13:00	問題研究 (班別) 「民事執行事件の処理」 1班 東京地裁判事 鷹 野 旭 2班 東京地裁判事 及 川 勝 広 3班 大阪地裁判事補 梅 本 聡 子					17:15 ※	
	3	火	10:00 講演 「刑事裁判について」 東京高裁部総括判事 村 瀬 均	11:30	12:20 説明 「刑事裁判の 現状と課題」 刑事局第一課長 香川徹也	13:00	13:40 説明 「裁判所書記 官との協働」 総務局参事官 平城文啓	14:00	問題研究 (班別) 「令状事件の処理」 1班 東京地裁判事 安 藤 範 樹 2班 東京地裁判事 内 藤 恵美子 3班 大阪地裁判事 本 村 曉 宏					17:00
	4	水	10:00 問題研究 (班別) 「民事保全事件の処理」 1班 東京地裁判事 関 述 之 2班 東京地裁判事補 野 村 昌 也 3班 大阪地裁判事 森 健 一					14:30	14:50 共同研究 (班別) 「判例について」 A班 東京地裁部総括判事 増 田 稔 B班 東京地裁部総括判事 本 多 知 成 C班 東京地裁部総括判事 谷 口 豊 D班 東京地裁部総括判事 平 木 正 洋 E班 東京地裁部総括判事 稗 田 雅 洋					17:00
	5	木	10:00 講演 「対人関係の科学」 株式会社 [] 代表取締役社長 []				12:00	13:00 講演		14:30 ワークショップ 「批判的思考について」 [] 大学大学院教授 []			16:00 16:15 17:00 まとめ	
	6	金	10:00 講演 「法とバリアフリー」 [] 大学 [] 教授 []			11:30	11:40 レポート 作成		13:10 意見交換 (班別) 「これから目指すもの」 a班 司研教官 藤 井 敏 明 b班 司研教官 伊 藤 雅 人 c班 司研教官 花 村 良 一 d班 司研教官 原 克 也 e班 司研教官 山 崎 栄一郎 f班 司研教官 藤 澤 裕 介			16:00		

※ 懇談会を予定